

名称等	「夏休み！校区内ゴミ環境勉強会」の開催		
実施日時	平成29年7月23日（日曜日）8時30分～		
場所	沼津市立第五小学校校区（集合：沼津市立第五小学校）		
担当	生活環境部 環境政策課		
	直通	055-934-4741	内線 2715

## 1 内容

- ・「沼津市立第五小学校 PTA」主催、児童と保護者対象にした夏休みのごみ拾いイベント
- ・「沼津市市民エコプロジェクト支援補助金」申請事業
- ・数人でチームを組んで調査票を使い、ごみの種類を調べながら、校区内のごみ拾いを行う。
- ・振り返りの時間を設け「ごみがどこから来るのか」「拾わなかったらどこへ行くのか」「減らすためにはどうするか」を考える。
- ・併せて、ごみとマイクロプラスチックに関する簡単な講座や、ごみ分別ゲームを実施する。

## 2 目的・理由

- ・単に拾うだけではない「調べ、考えるごみ拾い」を行うことで、ごみの在り方について一歩踏み込んで考えるきっかけづくりとする。
- ・参加児童及び保護者自身に楽しんでもらい、今後の自発的なごみ問題への意識向上に繋げる。
- ・夏休みの初めに行うことで、自由課題の取り組みの選択肢の一つとなることを狙う。

## 3 経緯・経過

- ・第五小学校保護者より、PTA に対して企画の提示があった。
- ・昨年度、市環境政策課主催で実施した「NUMAZU クリーンエイド」を参考にしている。
- ・市環境政策課の実施する「沼津市市民エコプロジェクト支援補助金」へ申請した。
- ・6 月下旬から 7 月上旬に参加募集を行い、現在 25 人程度の参加予定（当日追加の可能性あり）
- ・雨天時は勉強会のみ実施し、ごみ拾いについては再検討を行う。
- ・当日の進行及び勉強会については、環境政策課職員が実施する。

## 4 影響・効果

- ・ごみ拾いを行うことで、直接的な環境美化につながる。
- ・調査を繰り返すことで、ごみの傾向を把握することができ、今後の対策検討につながる。
- ・調べながら拾うことでごみの 1 つ 1 つを意識し、新しい発見や楽しみにつながる。
- ・チームを組んで行うことでコミュニケーションが生まれ、モチベーション向上につながる。
- ・振り返りの時間を設けることで、「じっくり考える」プロセスが生まれ、今後につながる。
- ・結果として満足感や楽しみに繋がり、今後の自発的なごみ問題への意識向上を期待できる。
- ・PTA 連絡協議会や地域・学校とのつながりを通じて、市内全域への広がり期待できる。

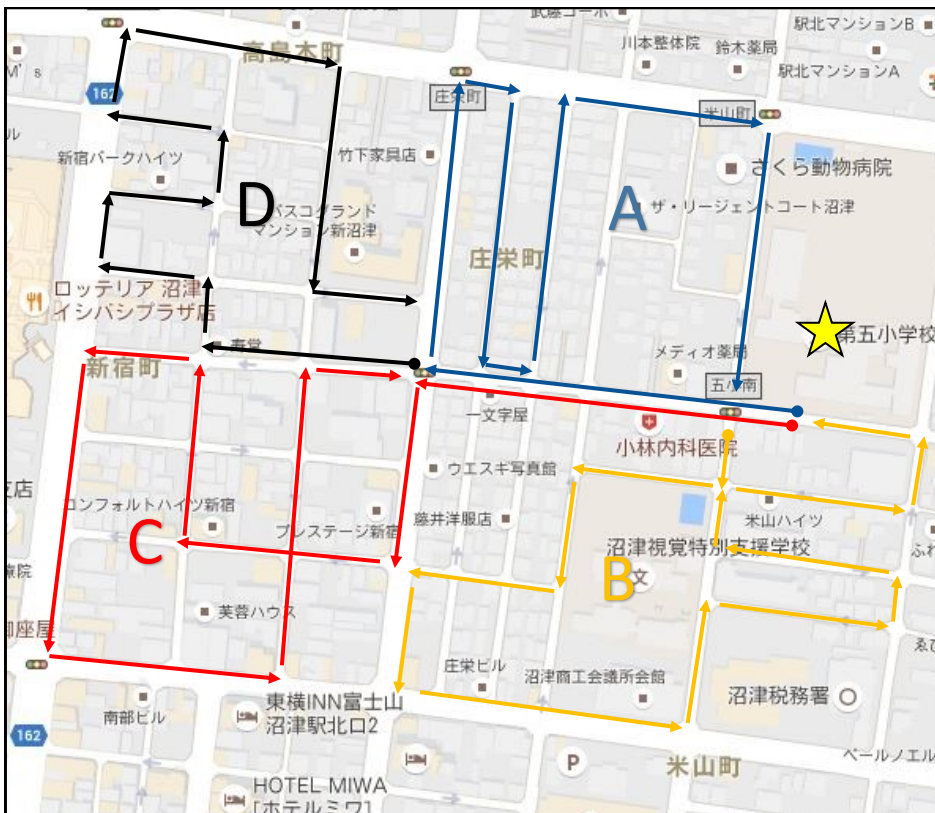
五小校区！

# ごみ調査カード

■調査日： 年 月 日	■リーダー：
■グループ名：	■人数（大人： 人/子供： 人）

ふくろ袋	しゅるい ごみの種類	せいじかぞ (正の字で数える)	ごうけい 合計
①	びん		こ個
	かん		こ個
②	ペットボトル		こ個
	たばこのすいから		こ個
	プラスチック容器やふくろ		こ個
	その他のプラスチック		こ個
	紙くず・紙容器や箱		こ個
①か②	ほか その他のごみ	(※ひろったもの・みつけたものを書く)	

※このコースを参考に、リーダーが時間調整をしながら先導してください。



## ■役わり■

### リーダー（1人）

- ・先頭でコース誘導する。
- ・拾ったごみの数を記入する。

### サブリーダー（1人）

- ・最後尾で安全確認をする。

### ふくろかかり 袋係（1人または2人）

- ・ごみ袋をもつ。

### リーダー以外の全員

- ・拾ったごみをリーダーに報告して、ごみ袋に入れる。

## 怪我・熱中症に注意！！

大きなごみ（粗大ごみ）や、危険なごみ（ガラスの破片など）は拾わないでください！！

# ～グループのみんなできり返ろう～



めずら ■ 珍しいごみ・き 気になったごみ

おお ■ ごみが多かった場所 ばしょ

いちばんおお ■ 一番多かったごみ

こうく ● 校区ごみはどこからやってくるんだろう？

ひろ ● もし拾わなかったら、ごみはどうなる？

こうく ● 校区のごみを減らすために自分たちにできることは何だろう？ へ じぶん なん

きょう ● 今日のごみ拾いで感じたことを話し合おう ひろ かん はな あ